NIKKEI
バーチャル・グローバルフォーラム

ー新型コロナ時代の日本と世界を考えるー

協賛趣意書

NIKKEI

企画趣旨

新型コロナウイルスは想定を超えて感染が世界に広がり、その影響は経済、ビジネス、国際情勢など隅々にまで及んでいます。収束後の日本と世界は何がどう変わっていくのか、いまからどのように変化に備えるべきか。新型コロナウイルスがもたらすニューノーマルなどについて、考えるヒントを提供することを目的に国内外の有識者や要人がオンラインで講義する「日経バーチャル・グローバルフォーラム」をシリーズで開催いたします。
講演内容はオンラインで配信するだけでなく、後日、サマリーを日本経済新聞とNikkei Asian Reviewで掲載。世界に広く発信をしてまいります。

世界の有識者が新型コロナウィルス後の日本と世界についてオンラインで講演

新型コロナウイルスがもたらすニューノーマル

世界各国で実施されている都市封鎖や外出規制、営業停止は人々の行動だけでなく、意識や価値観も大きく変化させています。新型コロナウイルスが終息した後も、テレワークなどの行動変容は「ニューノーマル（新常態）」として定着すると考えられます。米中の覇権争いといった国家間の関係、金融市場や経済構造にも大きな影響をもたらし、新たな秩序を生み出す可能性もあります。

ポストコロナ禍のパラダイムシフトの一例

新型コロナウイルス対策と、その後のニューノーマル対応で変化していくとみられる行動

テレワーク

オンライン
ショッピング

オンライン診療

オンライン学習

金融・公共サービスの
デジタル化

本事業の概要

“新型コロナウィルス後の日本と世界”というテーマに対し、世界のエキスパートが政治、経済、ビジネス、生活面での指針となりうる提言を展開。その模様をオンラインで配信するだけでなく、後日、採録を日本経済新聞とNikkei Asian Reviewに掲載いたします。

□ 名　称	日経バーチャル・グローバルフォーラム 「新型コロナ時代の日本と世界を考える」（仮）
□ 時　期	2020年６月～９月（予定）
□ 回　数	全９回（予定）
□ 形　式	オンラインカンファレンス（ライブ・アーカイブ配信）
□ 対　象	日本経済新聞読者を中心に幅広く告知 ※教育支援の一環として、一般募集以外に大学生にも受講を呼びかけます
□ 受講人数（想定）	3000名/1回あたり
□ 主　催	日本経済新聞社
□ 協　賛	複数社

事前告知、事後発信について

日本経済新聞、Nikkei Asian Reviewを通じて、カンファレンスの事前告知、講演内容サマリーの事後発信をおこないます

※Nikkei Asian Reviewは事後発信のみに利用

日本経済新聞	・発行部数　2,236,437部（2020年1月） ・経済を中心とした総合情報紙で世界最大の発行部数	・産官学のオピニオンリーダーが日常的に接触 ・ビジネスパーソンの必携紙
Nikkei Asian Review	・プリント発行部数：12,000部／WEB：3,265,000UV ・世界のC-suite、エグゼクティブからの支持を集める	・アジアにフォーカスしたニュースを発信

講師候補者（敬称略）

ナビゲーター

田中 明彦

政策研究大学院大学学長

働き方

清家 篤

日本私立学校振興・共済事業団 理事長

国際情勢

ジョン・ハムレ

米戦略国際問題研究所（CSIS）所長

ビジネス

竹中 平蔵

東洋大学教授、慶應義塾大学名誉教授

日米関係

ジョセフ・ナイ

米ハーバード大学特別功労教授

社会観念

マイケル・サンデル

米ハーバード大学教授

国内政治

石破 茂

衆議院議員 元自由民主党幹事長

対中関係

ジム・スタインバーグ

米シラキュース大学教授

経済政策

中曽 宏

大和総研理事長

サイバー

土屋 大洋

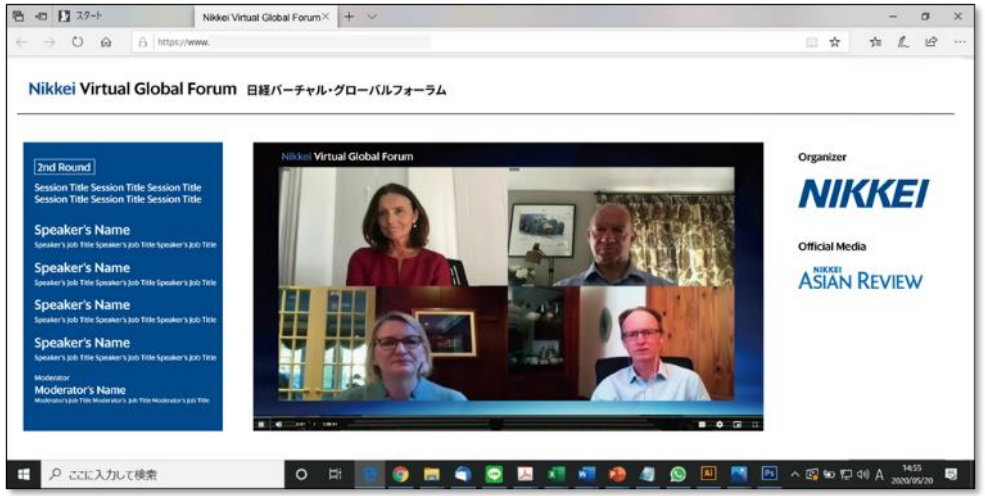
慶應義塾大学教授

タイムテーブル・配信方法

登壇講師とスケジュールを調整の上、開催日時を決定。プログラムは基本的に冒頭のイントロダクション、講義+質疑＋総括（合計55分）と協賛企業のトップが出演する対談セッション（20分）の約80分で構成します。配信は原則ライブでおこない、後日、収録動画をアーカイブコンテンツとして視聴できるようにアップいたします。

Lap(分)	プログラム
3	開会：ナビゲーターからのイントロダクション
55 講義と質疑の間の 小休憩も含む	【第１部】　講義 質疑 ナビゲーターによる総括
20	【第２部】対談セッション
	閉会

※第2部は無く、第1部のみで開催する回もございます。
※上記タイムテーブル・プログラムは、変更になる可能性がございます。
※講師への質問は、進行の効率化を図るため、事前に募集いたします。
※講師が外国人の場合は、日本語の同時通訳が入ります。



配信イメージ

対談セッション

プログラムの第2部として、モデレーターの小谷真生子氏と企業トップが対談するパートを設けます。ポストコロナ時代の企業のあり方をテーマに、デジタルトランスフォーメーション、グローバル化、SDGs、働き改革などについてお話しいただきます。対談の模様は動画配信するだけでなく、サマリーを日本経済新聞とNikkei Asian Review（英文）で記事体広告として掲載いたします。

◻ テーマ	ポストコロナ時代の企業のあり方 ※フォーカスする内容はご相談の上、調整いたします。 例）デジタルトランスフォーメーション、グローバル、SDGs、働き方 など
◻ 対談時間	20分
◻ モデレーター	小谷 真生子氏（経済キャスター）
◻ 形　式	オンラインでの生対談もしくは事前収録
◻ 採　録	【日経チャンネル】 アーカイブ動画配信 【日本経済新聞】 本紙朝刊 記事体広告 約6段分 【Nikkei Asian Review】 マガジン アドバトリアル 見開き2P

モデレーター

小谷 真生子

経済キャスター

日本航空株式会社を経て、NHKのキャスターに。NHK 総合「モーニングワイド」「おはよう日本」やNHK-BS1「ワールド・リポート」のメインキャスターを務める。1998 年からテレビ東京「ワールドビジネスサテライト」のメインキャスターを16年間担当。2014年から2019年3月までBSジャパン「日経プラス10」メインキャスターとして出演。

協賛メニュー

協賛料金：1500万円（税別）

＜協賛内容＞

1）貴社トップの対談パートへの出演、配信（1回）
［日経チャンネルでのアーカイブ配信も含む］

2）日本経済新聞 告知広告内での会社ロゴの掲載（シリーズすべての回）

3）カンファレンス特設サイト（告知サイト）での会社ロゴの掲載

4）カンファレンス開始前、終了後のタイトル画面上への会社ロゴの掲出（シリーズすべての回）

5）講演開催前、第1部と第2部の間、講演終了後に企業紹介動画（CM）の投影
※投影素材の長さ、投影回数等、詳細についてはご相談の上、調整いたします。

6）日本経済新聞 事後採録特集での会社ロゴの掲載（シリーズすべての回）

7）日本経済新聞朝刊全国版での貴社トップ出演対談パートの採録記事体広告の掲載
［モノクロ約6段分］

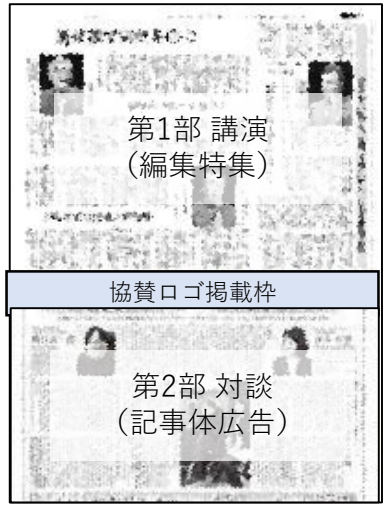
8）Nikkei Asian Review（マガジン）での貴社トップ出演対談パートの採録記事体広告の掲載
［カラー見開き］

9）貴社関係者の優先受講

10）申込者情報の提供（許諾が得られた方のみ）

＜オプション＞実費にて承ります

コンテンツを2次利用した小冊子等の作成
※マーケティングや社内広報用にご活用いただけます。



日本経済新聞
採録特集イメージ

Nikkei Asian Review
第2部対談パート 採録イメージ